



平成 21 年 4 月 17 日

各 位

会 社 名 株式会社角川グループホールディングス
 代表者名 代表取締役社長兼COO 佐藤 辰男
 (コード番号9477 東証第一部)
 問合せ先 取締役統括マネジャー 谷口 常雄
 (TEL. 03 - 3238 - 8710)

特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 3 月期 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日) において、下記のとおり特別損失を計上する見込みとなりましたので、その概要をお知らせいたします。

また、特別損失の計上および最近の業績動向を踏まえ、平成 20 年 11 月 13 日に公表しました平成 21 年 3 月期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の計上

(1) 保有する投資有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復の可能性があるとは認められないものについて、減損処理による投資有価証券評価損を計上する見込みです。

	個別	連結
(A)平成 21 年 3 月期第 4 四半期会計期間 (平成 21 年 1 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで) の投資有価証券評価損の総額 (=イ-ロ)	9,017 百万円	326 百万円
(イ)平成 21 年 3 月期第 4 四半期累計期間 (平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで) の投資有価証券評価損の総額	12,634 百万円	3,997 百万円
(ロ)直前四半期 (平成 21 年 3 月期第 3 四半期) 累計期間 (平成 20 年 4 月 1 日から平成 20 年 12 月 31 日まで) の投資有価証券評価損の総額	3,616 百万円	3,671 百万円

※四半期における投資有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。

※当社の決算期末は、3 月 31 日です。

※個別の (イ) には、連結子会社である角川映画(株)株式の評価損 8,695 百万円が含まれております。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	個別	連結
(B)平成 20 年 3 月期末の純資産額	75,542 百万円	78,280 百万円
(A/B×100)	11.9%	0.4%
(イ/B×100)	16.7%	5.1%
(C)平成 20 年 3 月期の経常利益額	2,458 百万円	5,951 百万円
(A/C×100)	366.8%	5.5%
(イ/C×100)	514.0%	67.2%
(D)平成 20 年 3 月期の当期純利益額または、最近 5 事業年度の当期純利益の平均額	2,805 百万円	1,770 百万円
(A/D×100)	321.5%	18.4%
(イ/D×100)	450.4%	225.8%

(2) 連結子会社である角川映画㈱、角川シネプレックス㈱、㈱角川モバイル及び㈱角川マガジズが保有する固定資産について、減損損失 2,253 百万円を計上する見込みです。

2. 業績予想の修正

(1) 平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	145,000	4,500	5,200	△2,244
今回修正予想 (B)	140,000	3,500	4,000	△5,300
増減額 (B - A)	△5,000	△1,000	△1,200	△3,056
増減率 (%)	△3.4	△22.2	△23.1	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	150,789	5,133	5,951	△2,598

(2) 修正の理由

売上高につきましては、景気の急激な悪化により広告収入が急激に落ち込み、また、公開映画では、目標とした興行収入に達しなかったことなどにより売上高が減少いたしました。

この売上高の減少に伴い、製造原価や諸経費の圧縮に務めました。全てを吸収するに至らず、営業利益、経常利益も減額となる見込みです。

また、当期純利益は、上記 1. の特別損失の計上により、前回予想の△2,244 百万円から△5,300 百万円になる見込みです。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上